



# 目次

訳者序文…… 3

原著序文…… 4

はじめに…… 9

## 1 放射能を帯びた惑星——地球…… 13

ウラン……14

放射能……16

追跡子の原理……28

## 2 鋤か剣か？ …… 35

原子爆弾の誕生……36

爆弾使用の決定……42

原子力の国際管理……47

1946年の原子力法……51

## 3 核医学…… 55

その始まり……56

生命の化学作用……59

脳の化学反応の像……62

人の破壊性の化学……68

利益と危険度……73

## 4 不確かさとの共生 …… 75

放射線と女性……76

よみがえる恐怖……81

スリーマイル島……82

チェルノブイリ……86

余波……90  
 原子力エネルギーの将来……95  
 放射性廃棄物の処理をめぐる問題(家の裏庭でなければ)……97  
 ラドンが家庭内用語となる……112  
 美食家のためのγ線……119

**5 真実の探求** ……………127

マレーシアでの錫裁判……128  
 アジア希土類会社反対闘争……131  
 裁判になった放射線科学……134  
 科学と政治の出会い……144  
 危険度：現実と見込まれるものと……145  
 無知と怖れに挑む……148  
 選択の方法：危険度の認知と評価……150

**終わりに** ……………161

**日本語版追記** ……………171

